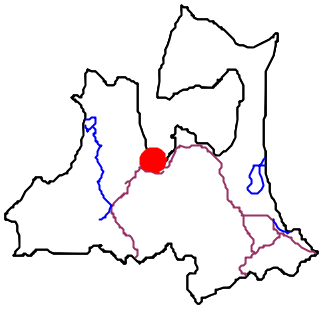
安全で安心できる地域づくり　あらゆる災害に強い安全な地域づくり

事業名	青森港沖館（おきだて）地区　複合一貫輸送ターミナル（耐震改良）　（直轄） （青森県青森市）
事業着手：平成15年度	完成・供用の目標年度：平成１９年度完成予定

事業の必要性・事業の概要

青森県



事業の必要性」

青森港と北海道を結ぶ航路は、本州と北海道のフェリー輸送の約3割にあたる年間約2，200万トンの取扱量があり、本州－北海道間の複合一貫輸送の大動脈航路です。

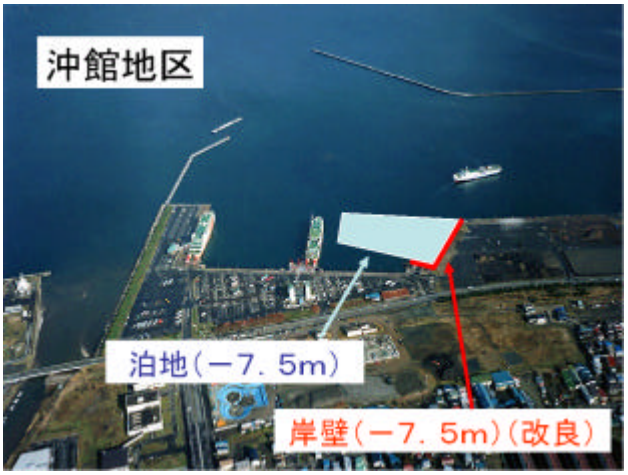
大規模地震災害時においても、本州－北海道の物流の混乱を抑えるため、一定の物流機能を確保する必要があります。

※複合一貫輸送…特定の貨物が船舶、鉄道、自動車、航空機など種類の異なる２つ以上の輸送手段により相次いで輸送される場合をいう。

事業の概要」

本事業は、震災直後から復旧期間における一定の幹線貨物（フェリー）輸送機能を確保するため、青森港沖館地区において、既設岸壁（水深６m）を耐震強化岸壁（水深７．５m）に改良整備を行うものです。





平成１７年度事業費及び事業内容

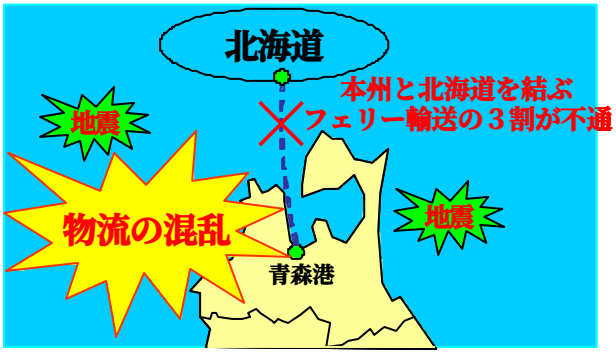
○事業費：1，400百万円

○岸壁の本体工となる鋼管杭の打設など本格的に現地着手し、平成19年度の供用を目指します。

事　業　効　果

○既存岸壁を耐震強化岸壁に改良整備することにより、大規模地震災害時においても、一定の幹線物流機能を確保することが可能となります。

大規模地震災害時**現状では…**



大規模地震災害時**耐震化すると…**

